

7月8日の3分スピーチ：

皆様、こんにちは、平成21年度のロータリー奨学生の劉国華です。6月28日ー7月2日にスウェーデンのヨーテボリに行われた国際微生物学会に参加しました。この学会の参加をきっかけに、研究の交流や英語の上達および海外の友達までができて、非常によかったと思います。その一部の感想をお述べさせていただきます。

研究の交流： 学会の参加を通して、自分の研究をたくさんの研究者に紹介し、コメントや指摘をいただくことによって、研究の改善または自身の知識を広げるのに非常に重要だと感じました。

英語の上達： 英語の論文を読むや書くことは、研究者に対して基本的な能力です。なぜならば、世界における各分野の最先端の研究は英語の論文で発表されているのです。しかし、非ネイティブの私にとって、英語でコミュニケーションの際に、相手の英語の意味は60パーセントしか取れないです。それは、自分の単語量が足りないのはもちろん、自分の発音が正しくないのは主な原因だと考えました。なぜならば、自分の発音が正しくないと、相手の正しい発音を取れないです。ですので、自分の発音を直しながら、英語でのコミュニケーションは徐々に上達して行こうと思っております。

友達づくり： 研究の交流をきっかけに、たくさんの研究者と連絡アドレスの交換などを行い、友達ができまして、今も何人とe-mailで連絡しています。その中の一人はハンガリー人です。彼は、最初、私の名札を見て、非常に喜んでいました。なぜかと言うと、私の名札にJapanを書いているからです。実は、彼が日本に一度にも来ていなかったのに日本語を喋れるのです。そして、彼と英語で喋る時に、意味取れない言葉は日本語で訳するとすぐ分かって、会話はスムーズに行きました。

彼との面白い対話：

私：“We are not Japanese, we can speak Japanese”

彼：“But we are not English, we are speaking in English”

—— 大笑い(=^▽^=)

以上、あまりくだらない話ですか、ぜひ目を通してください。今度、機会があれば、自分の専門を紹介しようと思っております。

劉国華

横浜国立大学

2009年7月13日